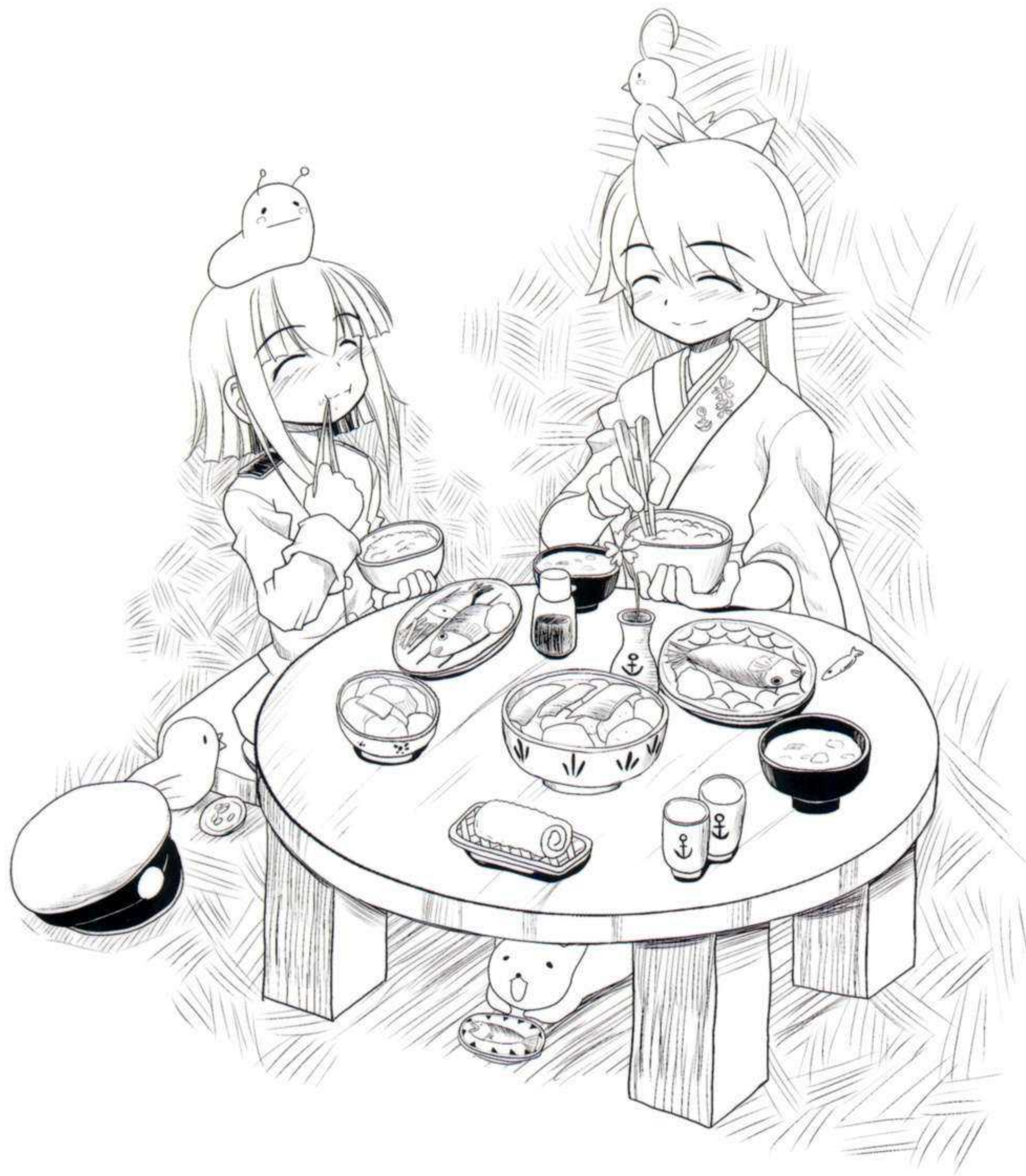


鳳翔さん！
なんでも
騎乗位でしか
ませてもら
くれないんですかあ？！

千本ノック座談会 Presents

□FOR ADULT ONLY□



千本ノック座談会 Presents

☐FOR ADULT ONLY☐

2014 10 発行



うふふ♡

冗談ですよ♪



「飯で！」

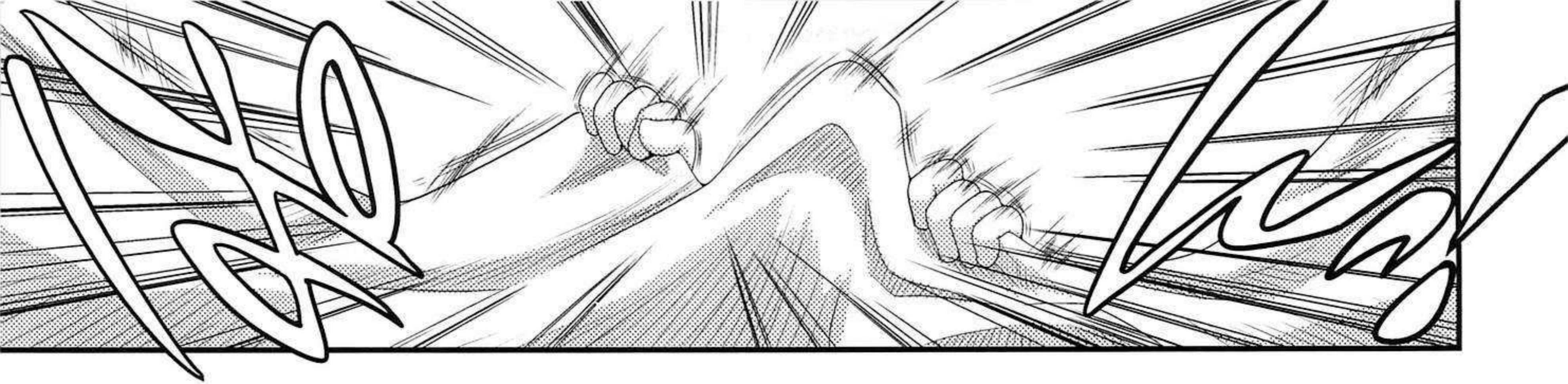
今食べてるでしょ

ウーン

お風呂でお願いします



冗談では済まされなかった





もぼ、ぼく

お願いします
鳳翔さん

おぼろげな記憶を
思い出して



致しかた
ありませんね

えっ?
鳳翔さん??

ええ?

入室厳禁

ウフフ♥
上手に出せますか?
『ぴゅー』って♥

そんな
おちんちん
から? しい
恥ずかしい
ですわ
見ないでっ
鳳翔さんっ

ぼく...
提督なの...
Vafaf Vafaf Vafaf

今だけは
『えっちな男の子』
になっつて下るこ♥

何か
来るっ

さ♥提督
我慢せず
に出しちゃ
って
ください

やだ♥っ出♥っちや♥っ
鳳♥翔♥さ♥ん鳳♥翔♥さ♥ん
鳳♥翔♥ッ♥サ♥ア♥ん♥っ♥



あら♥凄
い量
こんな
溜めて
いたん
です
ね♥

どうぞ、
全部
出して
くだ
さい♥



また
ガマン
でき
なくな
った
ら
言
って
くだ
さい♥

はは
ひ♥



お疲れ様です

おフロにしますか？

ゴハンにしますか？

あ、あの…

また
お願いします

致し方ありませんね

気持ち良いですか？
提督

はい
スゴイです

あ
もう出ます

それから何度も
鳳翔さんに
お願いしたけど

すいません
いつも…

僕が
スツキリすることは
なかった

はい♡
お疲れ様でした♡

お気になさらずに♡
若いんですから
仕方ないですよ
提督♡



やはり
こういうことは
ちゃんとして
好きな女の子と…
ね？提督

でも…

ぼく…
ぼく…!!

鳳翔さんの
夢で

出しちゃったん
ですっ!!



言っちゃっ

い…

致し方ありませんね



ちよっと
準備
してきますね

えっ？
準備？
あ…の…？



提督

0 0

ちよっとね…

あれ？
鳳翔さん
今から出撃するん？

13

キラキラつけてきた

お待たせしました

？



私が

上になりますね♡

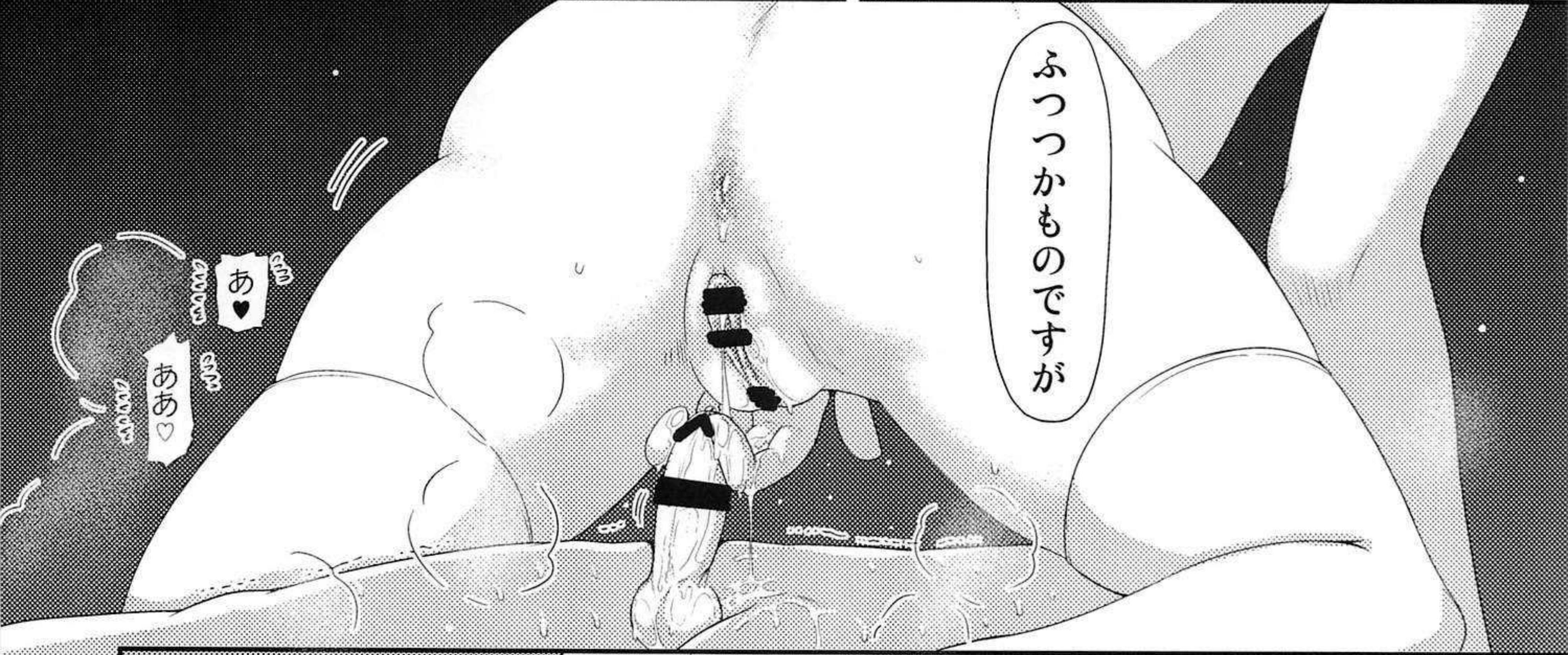


あ、はい
私でよかったですら
あの

え

いいんですか？

ほ、風翔さん♡



ふっつかものですが

あ♡

ああ♡



よろしくお願い致します♡

はうううううううう♡



ちゃんと
入ってますよ♡
提督の
おちんちん♡

は♡

はうううううううう♡

はうううううううう♡



ちよつ…
すごい量…

手でした時
よりな
沢山…
ちつちやな
おちんちんが
ブルブルしてる

まだ
止まらない…

どうしよう…
これ以上
コレが続いたら
私…

気持ち良過ぎて
よく
判らない…

僕ちやんと
できましたか？

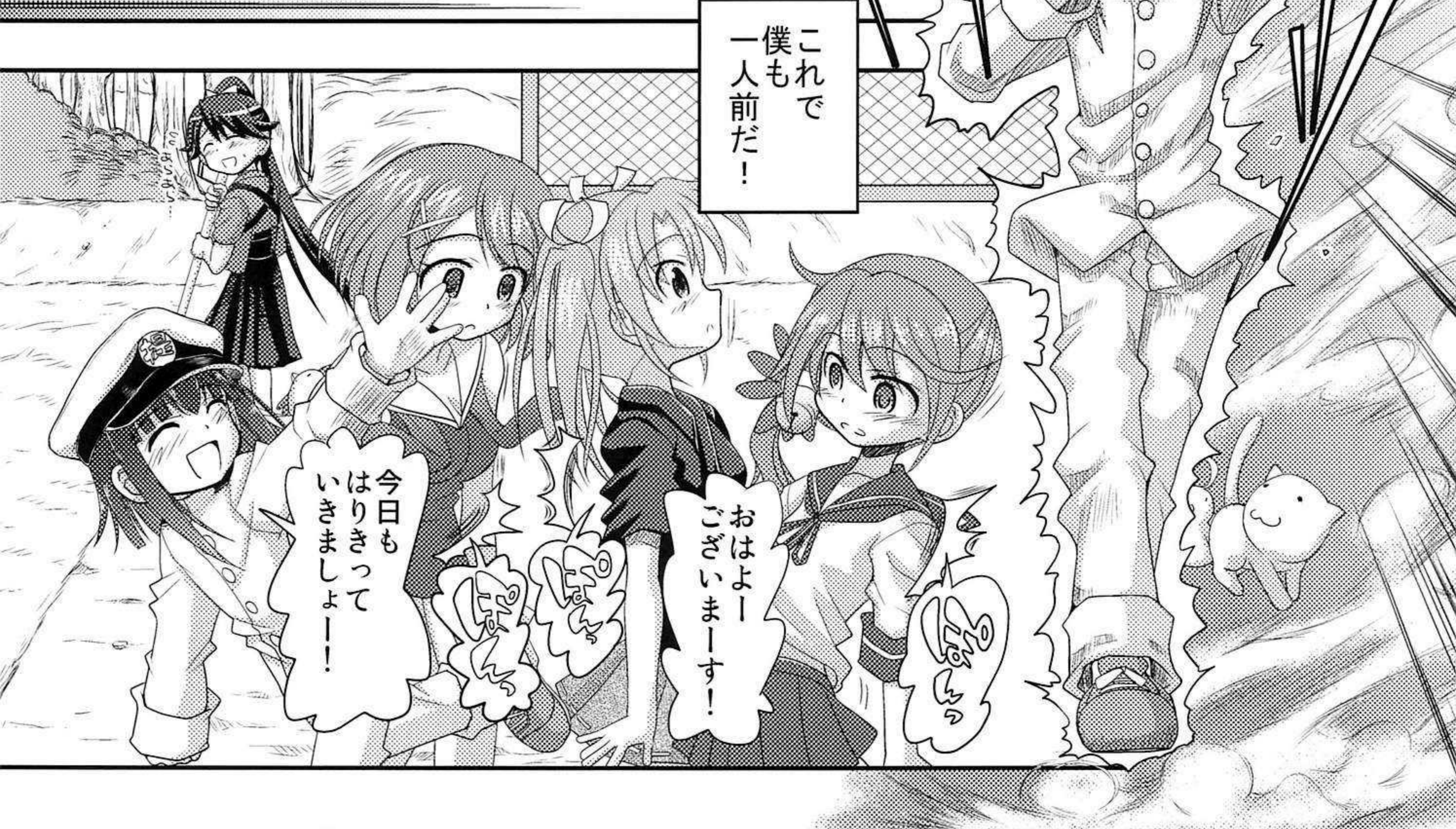
鳳翔さん…

ハイ♡
ちやんと
びゅーって
出来てましたよ♡

童貞卒業
おめでとー♡
提督

巻末貞童

(ほぼD敗北)



これでも一人前だ!

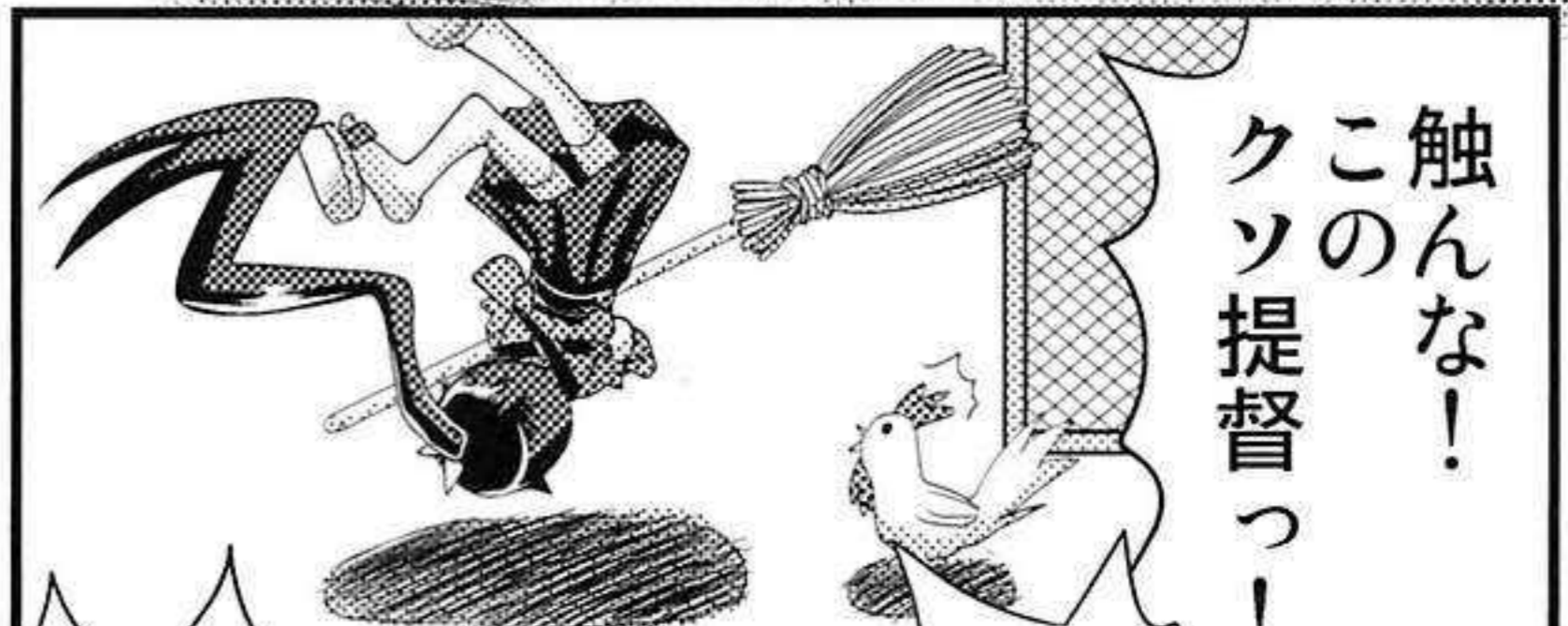
今日もはりきっていきましょー!

おはよーごぞいませー!

おはよー



一人前じゃなかった



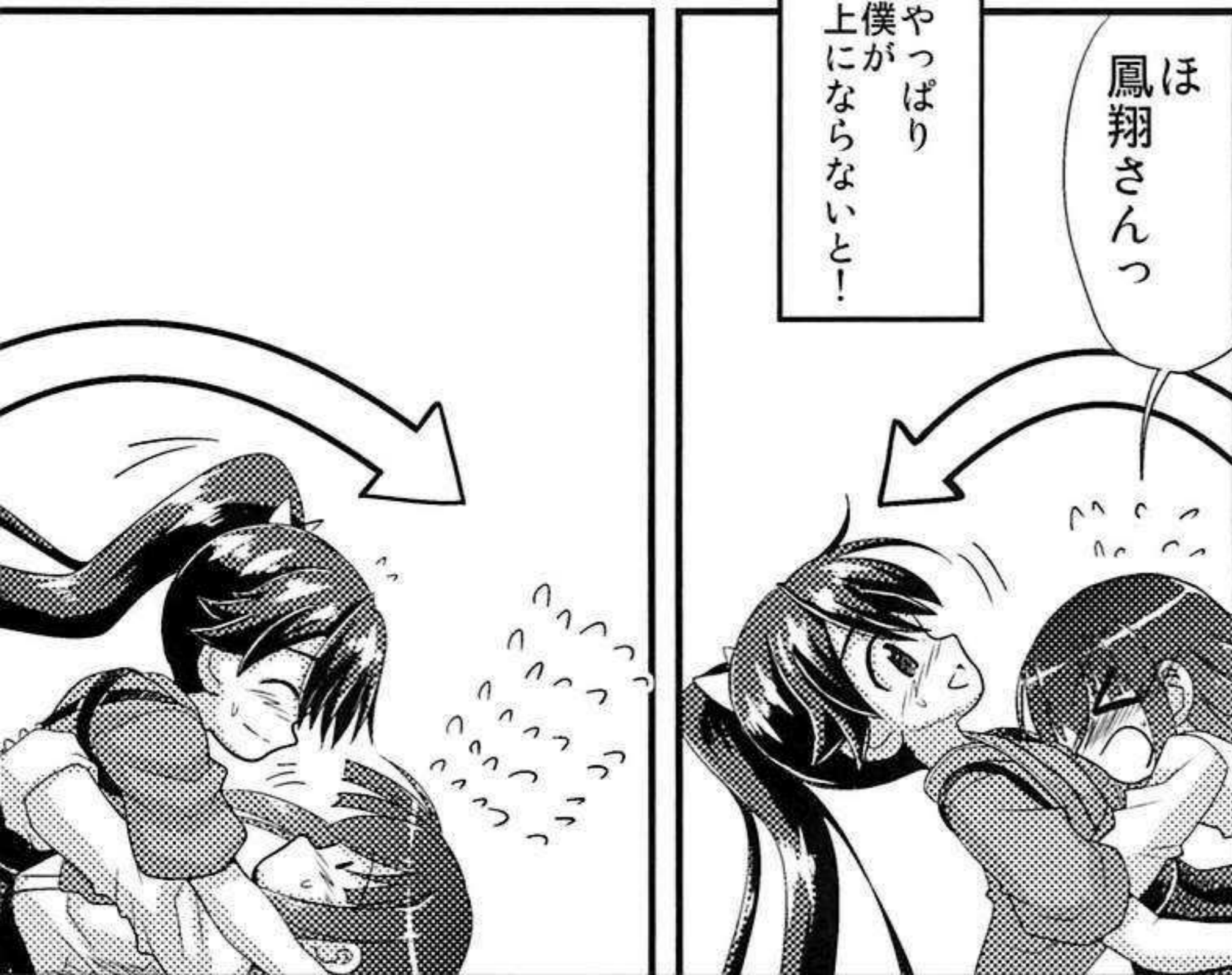
触んな! このクソ提督っ!



爆撃されたいの?

おまえウザいッツ!

ごめんなさいごめんなさい



ほ 鳳翔さんっ

やっぱり僕が上にならないと!



一人前に
なる為

鳳翔さんを
イカせる!

あッ…
提督?

私がつ
動きますからっ

今日は
僕が動きますっ♡

あああっ♡

鳳翔さんっ♡

鳳翔さんっ♡♡

あっ♡駄目
届く…っ

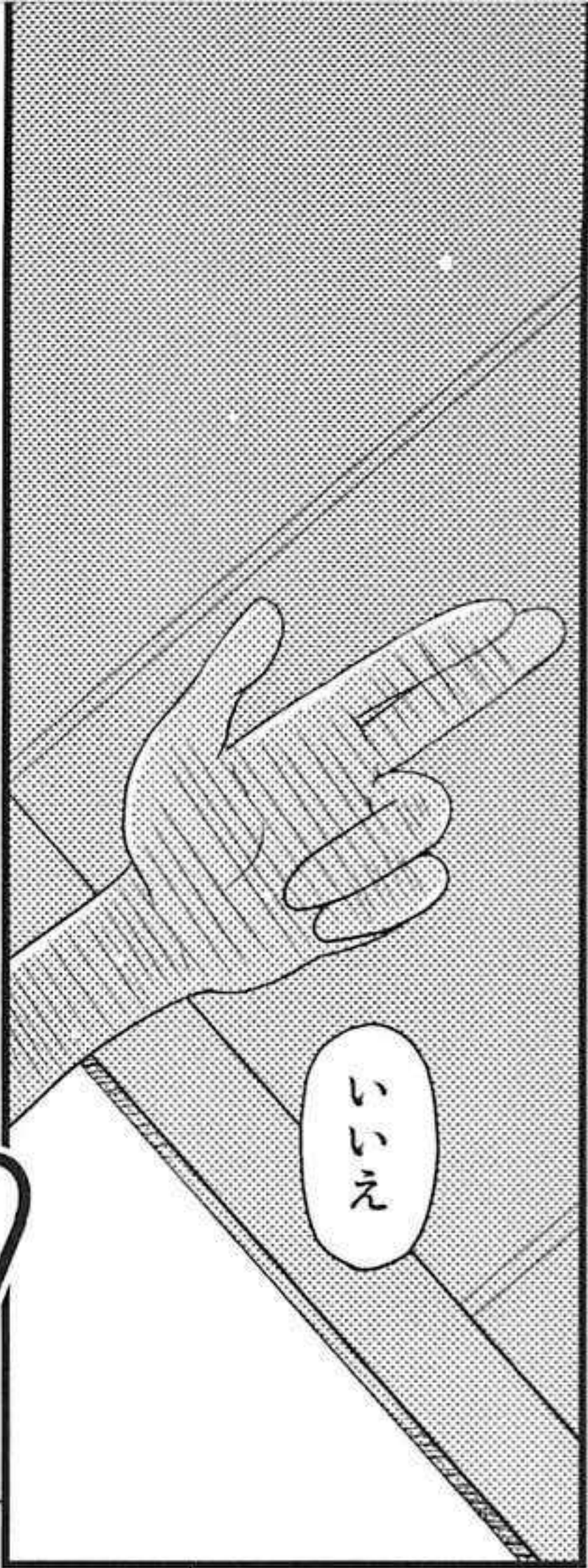
て…提督っ

ハハ
駄目ですっば!

あう?



『おしり
クチュクチュ
です♪』



いいえ



おしおきです

えっ?
まさか
『おしりペンペン』
ですか?



鳳翔さんと
何でも
しいから
したいですッッ!

きつ..
騎乗位で
したいですッ

あら
トコロテン
みたい♪
今度から
コレで
出しましょうか?
提督
どうやら
騎乗位は
お気に召してない
ようですし..



『ごめんなさい』
はっ?





あの人

誰に甘えれば
いいんだ？



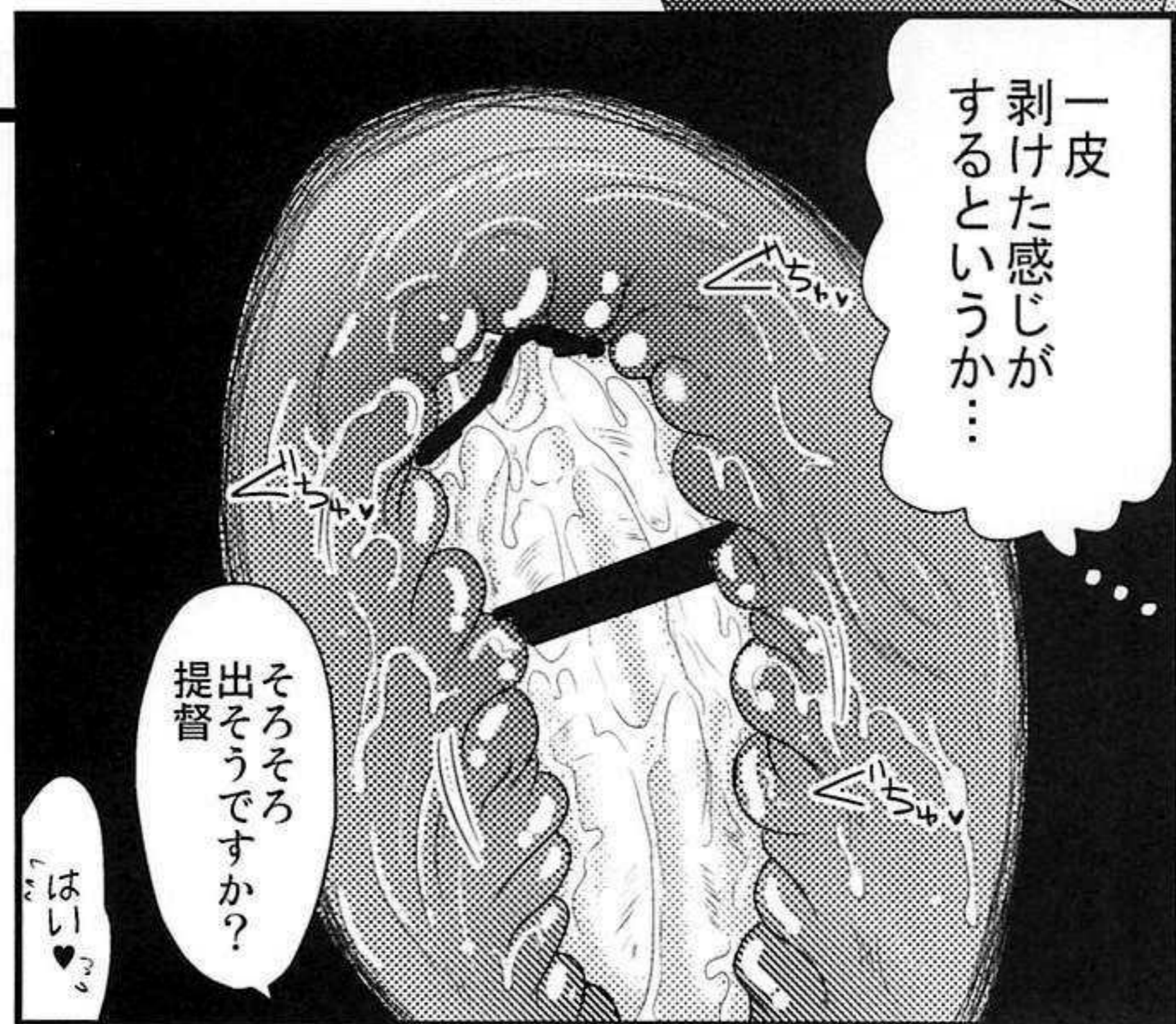


提督、気持ち良いですか?♡

ハハ♡
♡♡♡

ちゅっ
ちゅっ

ちゅっ



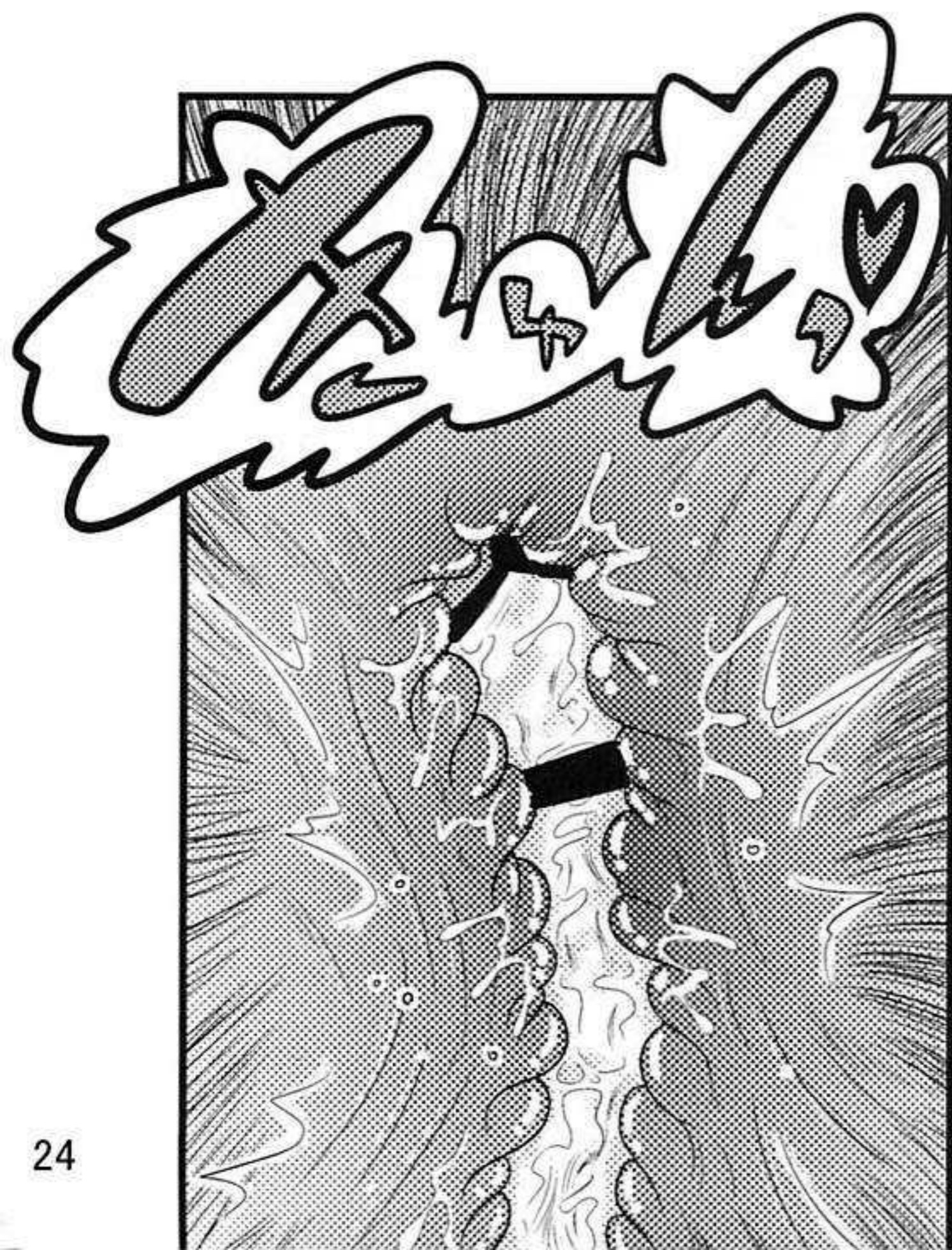
一皮剥けた感じがするとうか…

そろそろ出そうですか? 提督

はい♡



なんだか、今日の提督…



あっ♡ ああっ♡
今日もまた鳳翔さんのなすがままだ…今は頼りないかもしれないけど…

出ッ♡ちやう…♡

いつか鳳翔さんが頼ってくれる男に…



びしょ濡し

びしょ濡し

びしょ濡し

びしょ濡し

びしょ濡し

びしょ濡し

びしょ濡し

びしょ濡し

びしょ濡し

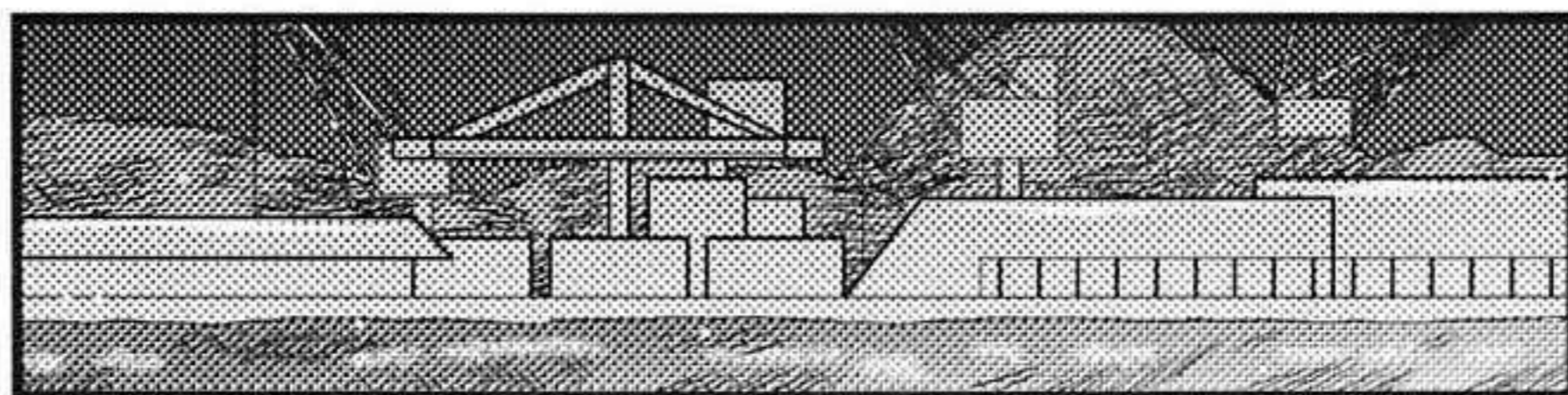
びしょ濡し

びしょ濡し



お母さんでも

たまには女になって
甘えていいんですよ



私にします？

提督

それとも
お風呂？ご飯？

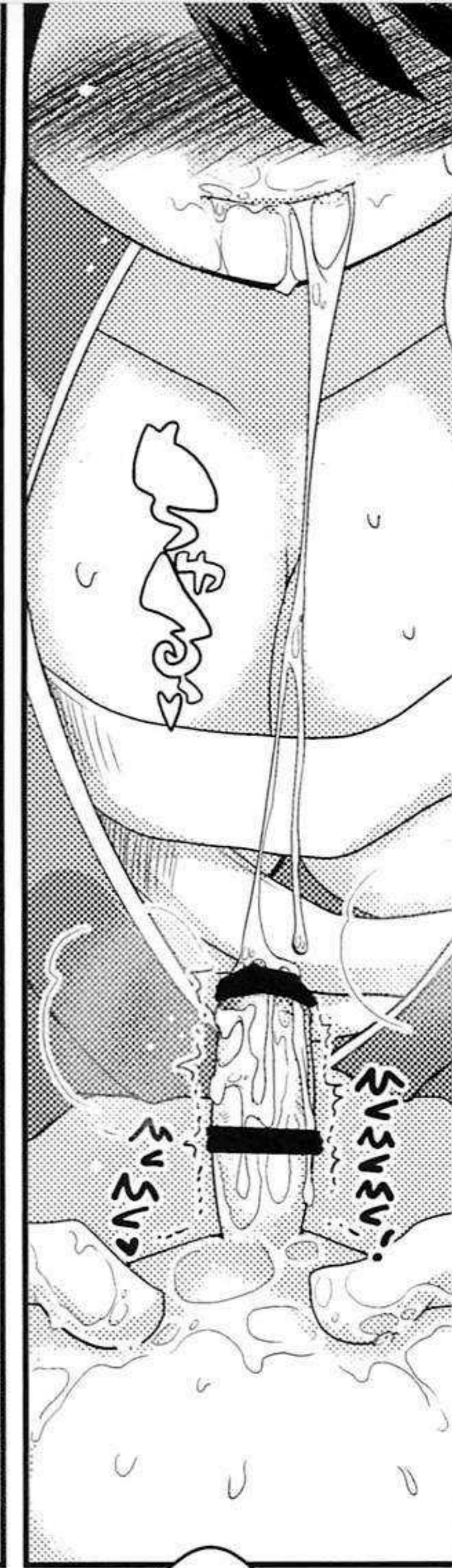
えっ？
ええっ？

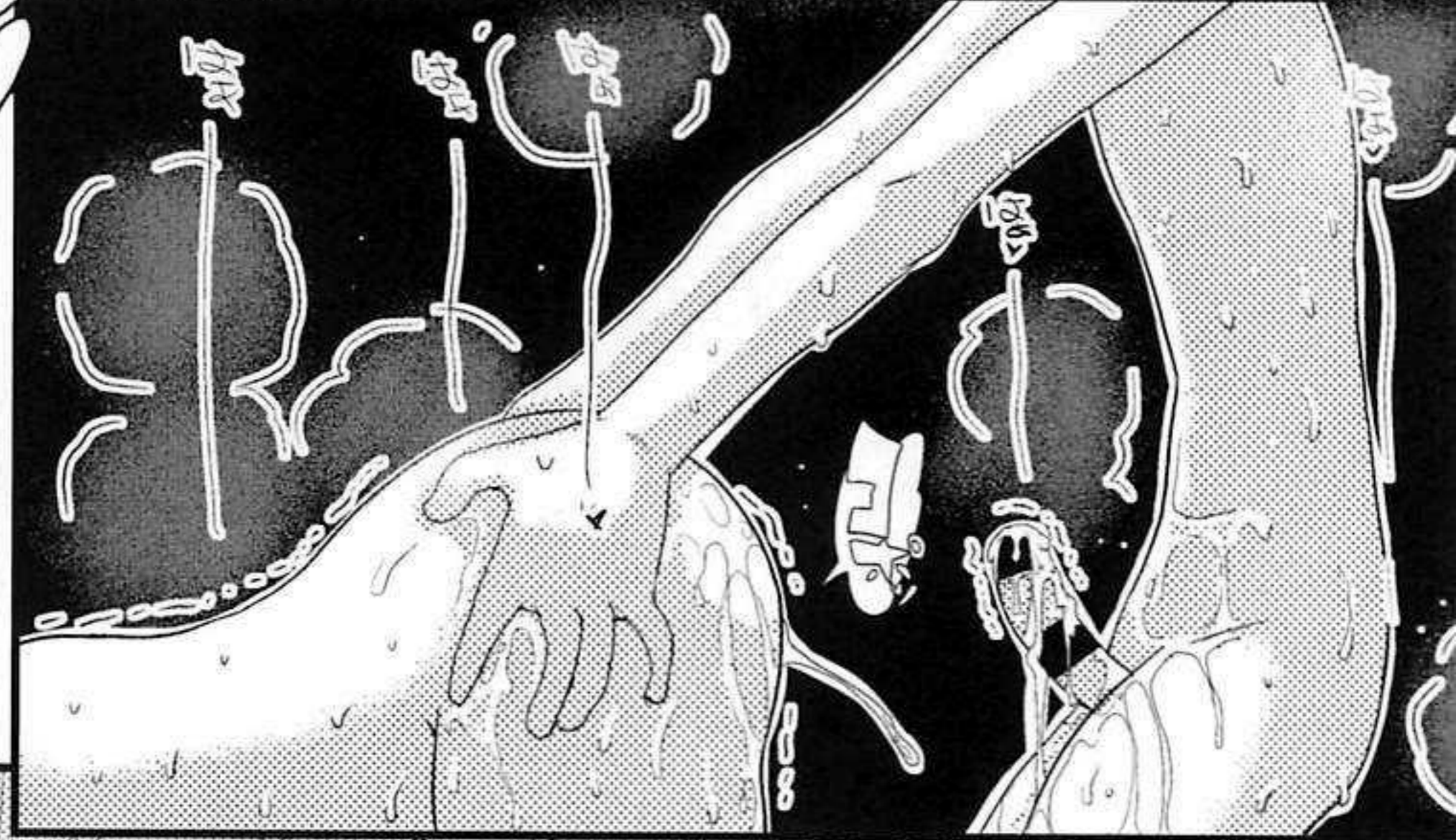
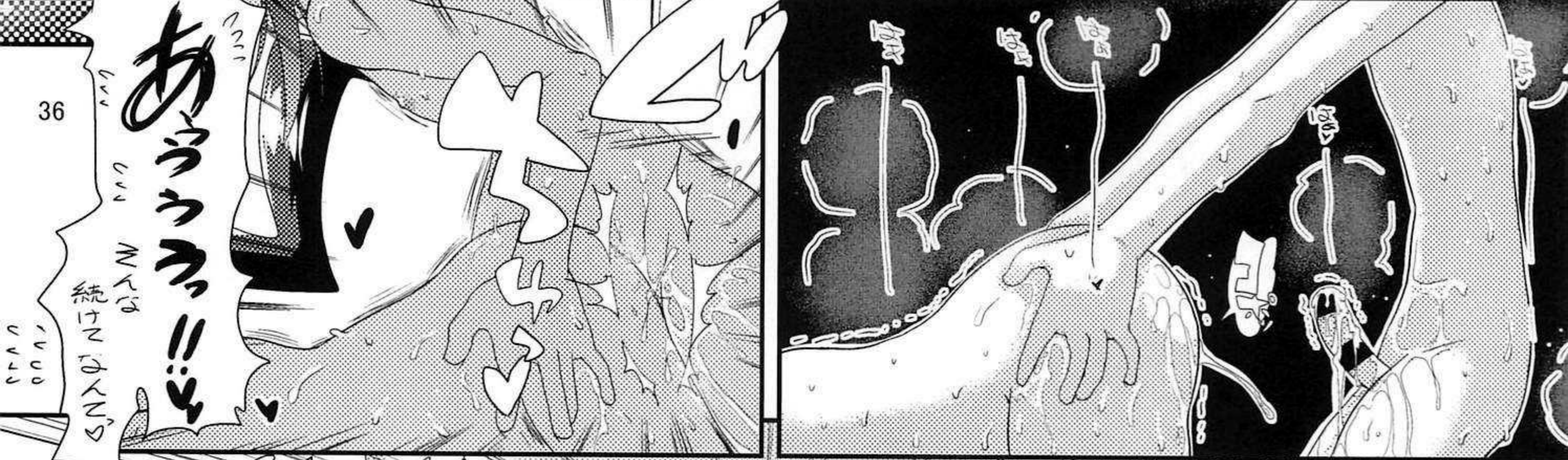
えへへへへへへ
もも勿論
鳳翔さんっ♡
鳳翔さんで！
お願いします！ハイ

ーって
鳳翔さんっ？

ほわわっ♡

ほっ、鳳翔さんが
僕のを
舐めて…？



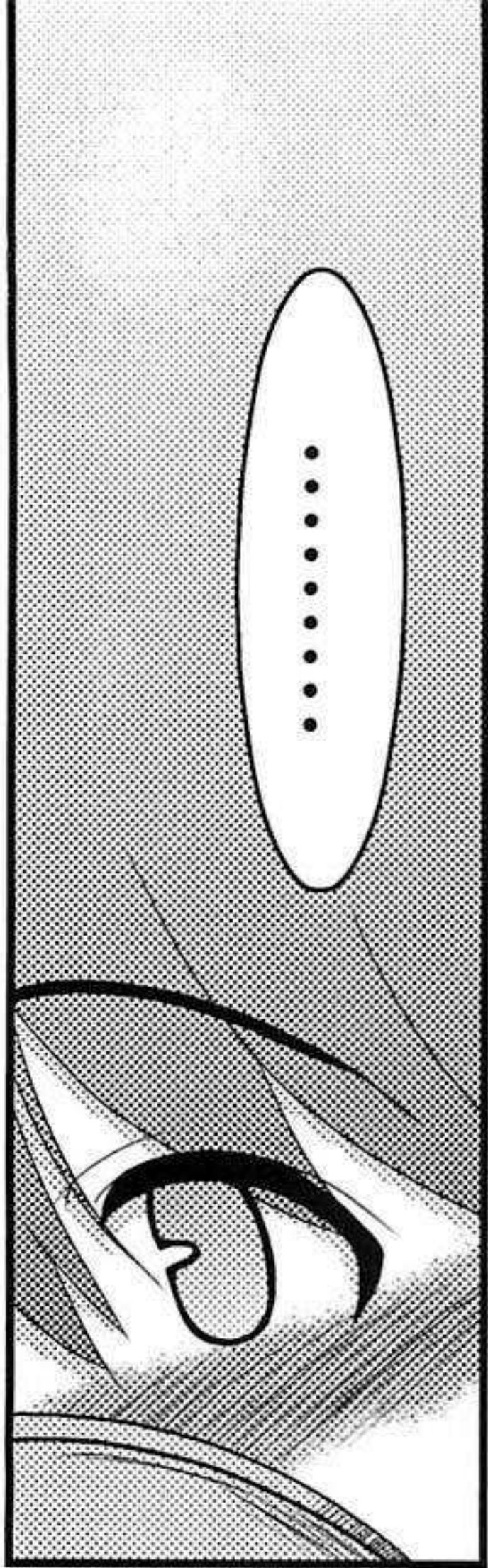


あひま

あひま

あひま

あひま



私も同じ
なんて
言えない

僕なんかまだまだです！
なんていうか、
誰かを想えば思うほど
自分の未熟さが
身に沁みてるって
いうか：
あれ？僕何言ってるんだ？



おしりで
あんなに乱されて
しまうなんて：
もう、完全に
提督の方が
上手ですね

そんなこと
ありませんよ

そっ



？

もう
大人になっちゃい
剥いちやい
ましようか

そんなこと
悟る位に
なったのですから



あふっ
鳳翔さんっ

おちんちんがっ

えっ？



はい♡
剥けました♡

はっ♡
はひっ♡

おちんちんが
すりゃり♡

やっぱり痛いですか？
なら、今夜は…

だっ
大丈夫です！

いつまでも
演習ってわけには
いきませんからっ
僕、
この
一人前の
おちんちんで！
ちやんと

鳳翔さんを
いっぱい
えつちな女の子
にしますッ！

あら♡
では、今夜は
前です！

おしりです
します？

それは勿論…



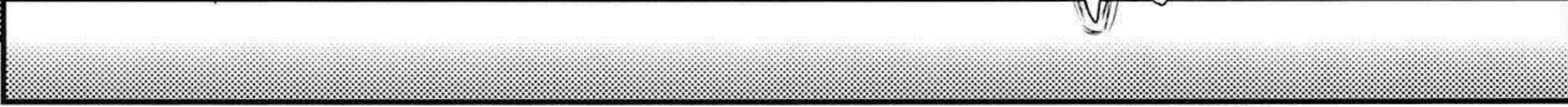
『両方』
です！

あ♡先っちよ♡だけじゃなくて
全部が♡粘膜っ♡吸い付いてっ♡
あ♡っ♡す♡ご♡い♡全♡然♡違♡う♡っ♡

ガッガッ

ガッガッ♡





一人前には
まだまだは
遠いよう
です



皮がまた
被つて
いましたあつ!!

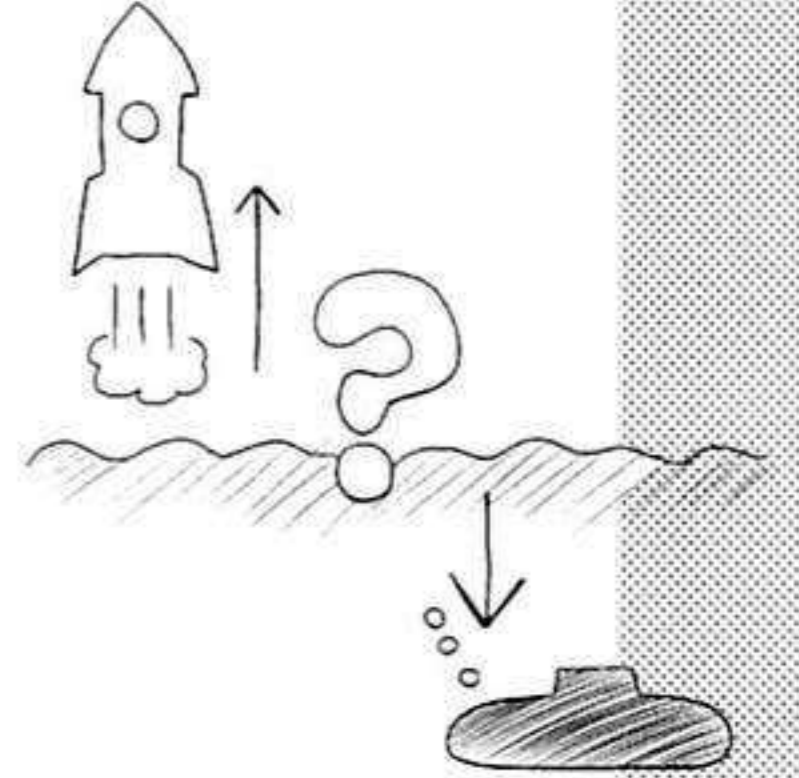
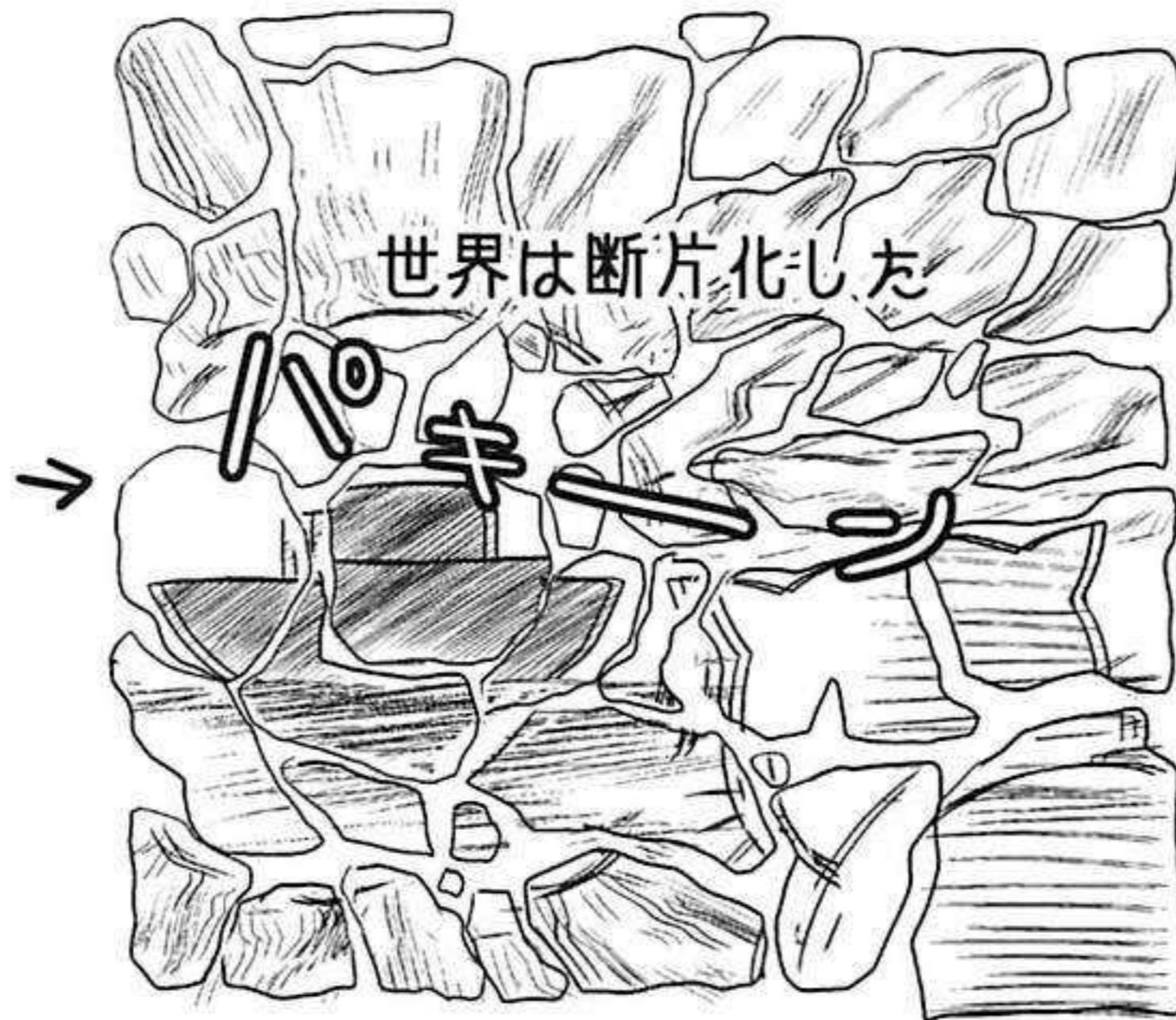
せっかく
剥いて
もらったのに...
皮が...っ!!

自分なりの脳内補完

それは外宇宙を目指した宇宙船だったのか、深海を目指した潜水艇だったのか
人々の断片化した記憶によれば、それは人類の未踏を目指す為の「船」であったと認識されている



その「はじまりの船」の出港の日。
空間を捻じ曲げて、時空を越える
空前の技術が使用された瞬間



空間、時間、因果律までもが分解されて再構成された世界
全ての事実と現象が崩れたジェンガのように積み重なっている
「モノ」と「生物」、物質世界と霊的世界との境界が曖昧

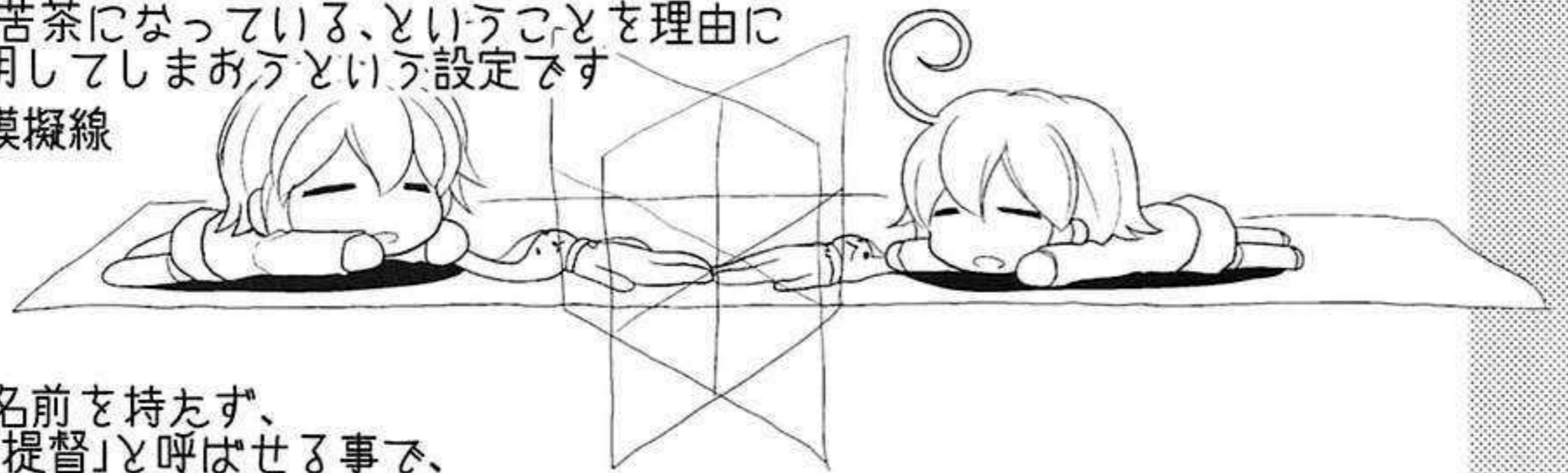
九キ又 (時間) 〇キ∞ (空間) ← 此の式が 成り立つ世界

例えば積み重なったジェンガから
「ポーランド進行」や「マンハッタン計画」
といったパーツが抜け落ちて
その前後の歴史的事実が傾いたまま
積み重なった状態



第二次大戦中の空気と2000年代の空気が混じり合った日本が舞台
完全に孤立した「島」になっており、海を隔てた他の陸との交流は深海棲艦のせいだ困難

要するに、現象の因果関係が滅茶苦茶になっている、ということも理由に
ゲーム内の不可解な点を全て説明してしまおうという設定です
ちなみに、「演習」は平行世界との模擬線



はいとびのせてー



特定の名前を持たず、
自分を「提督」と呼ばせる事で、
存在の流動性を保ちつつ、
自らを一定の枠の中に帰属させ、
他へ認識させている

艦娘は提督の命令には逆らえないけど、
絶対服従ではない

こんなナリだけど、
日本の海に関わる全てのものを
従わせることができる霊格を持つ
どれ程の武勲艦であっても
彼の命令には逆らえない
艦娘からは前世界で海に関わることで
よっぽどの武勲をあげた
兵器や軍人の化身だと思われる。



正体は、壇ノ浦に沈んだとされる
草薙の剣の化身

深海棲艦は

世界のどこかにある「はじまりの船」から発せられる事象のやがみを強く受けたもの。
彼女たちの出現する海域は特に断片化が激しく事象の矛盾が多い。
事象の矛盾のせいだ、深海棲艦側は資源がほぼ無限。

恐らく、深海棲艦の支配海域の中心に「はじまりの船」があり、断片化した世界を元に戻せるかもしれない
…というようなストーリー

本当は...

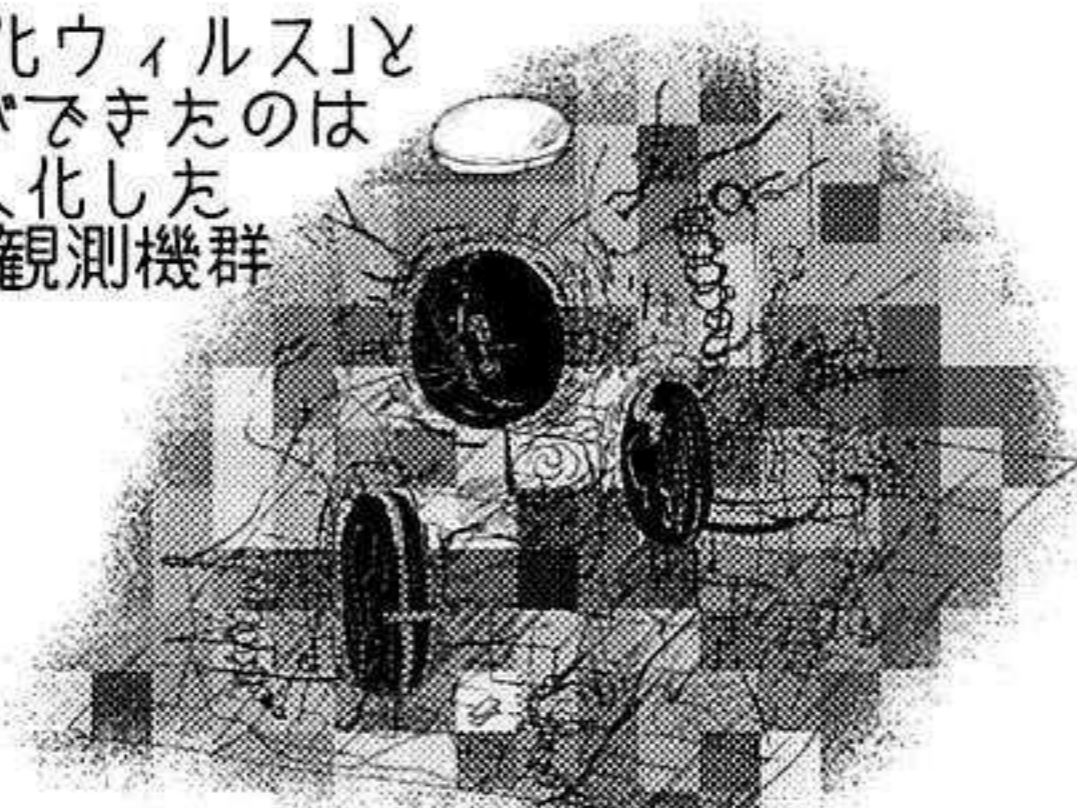
西暦でいうところのおよそ2500年頃、外宇宙への植民の為、自ら進化する人口知能を持ち、自己増殖しながらテラフォーミングをする無人船団「passenger(パッセンジャー)」は人類の希望を乗せて宇宙へ飛び立った。
そして、宇宙の片隅で無限に自己進化するAIを獲得する。
この時点で人類が扱ってきた物質と現象は全宇宙の約6%。passengerのそれは20%に達していた。

人類を遥かに凌駕したpassengerは自己増殖の為に不要な生物を宇宙から駆逐してゆく。その過程で人類は滅亡した。
進化し続けるpassengerが、時間、空間、そして因果律すら操作する技術を獲得し、様々な平行世界で自己増殖をしてゆく中、とある断片化した地球の海上で対処不能なウィルスに感染する。

定命化ウィルス

分解された粒子を再び繋ぎ合わせて、生命体として再構成してしまうウィルス

それを「定命化ウィルス」と名付ける事ができたのは、半分以上擬人化したpassengerの観測機群



この観測機たちは自ら名付けたウィルスの名前も存在も忘れたまま、生命体と化す



定命化ウィルスに感染して、安定して擬人化できるのは、『モノでありながら生命あるものとして、多数の生命体から高密度の思念を照射されたことがある物質』分解され散らばっていた「元は人から強く想われていた物質」の粒子がウィルスに冒され、再結合して擬人化する。
こうして擬人化した物質による世界が形成されていった。

艦娘やそれに関わる世界が比較的安定しているのは、短い人類の歴史の中で、最も高い密度で人の想いを受けていた「モノ」は第二次大戦時の兵器郡だったからなのかもしれない

そして高い密度で生物の思念の照射を受けることができなかった物質が定命化ウィルスに対して拒否反応をおこしているのが深海棲艦。passengerとしての性質が強い。
想われることがなかった兵器の成れの果て？

艦娘が海域を攻略して地上を制圧すると、定命化ウィルスが蔓延してその地にまた生命体の世界が生まれてゆく。

なお、定命化ウィルスは自己保全の為に、自ら擬人化した生物に偽の記憶を植えつける。そしてウィルスの存在自体を隠す性質がある。一種の擬態。
この為、擬人化した生物たちは「はじまりの船」という代替の物語を共有している。

深海棲艦は「定命化ウィルス」とpassengerによる本当の経緯を認識しているが、ウィルスへの拒否反応の為に、生命体との意思疎通ができない。
艦娘陣営と敵対しているのは文字通り、ウィルスへの「拒否反応」

「ケッコンカッコカリ」により、ウィルスに感染しない生命体が誕生したら...
深海棲艦が拒否反応を起こさず意思疎通ができるようになる？

意思疎通により艦娘陣営が真実を知り、深海戦艦との戦いが終わる時、

時空の片隅から「定命化ウィルス」への感染を防ぐ為に、自らヒトと化したpassengerが地球へ襲来し、最終決戦...

なーんてことをもーして挿いできた



このたびは手にしていただきありがとうございます。
稲場です。

今回は鳳翔さんです。

「最初から空母として建造されて完成した艦」であるという史実からくる「全ての空母の母」という位置付けを活かし、艦これにおいては鎮守府のお母さんというキャラ付けがされています。しかし、艦娘化するにあたって、その小柄な船体とささやかな武装は従来のママンキャラのような熟れた身体のポインポインボディなビジュアルにはし辛かったと思います。結果、艦娘としてはああいうビジュアルでああいう声でああいうキャラになったわけですが、これが自分の中で大ヒットしちゃいましたね。なんていうか、その…フフフ…、エロ同人書いちゃいました。

いわゆる「ママン」なキャラとは違う、例えるなら「弟や妹の多い家庭で育った長女の同級生」みたいな魅力があると思います。熟してないけど、どこか大人びている。みんなで遊びに行こうと誘っても「ごめんなさい、休日は弟たちの相手しなきゃ駄目なの」と笑顔で断る。必死に背伸びしている同年代の女子の中で、一人だけ垢抜けていかない。いつも地味。だけど上品で気高く、誰よりも大人っぽい。そんな近くて遠い存在。

「抱きしめられたい、守られたい、甘えたい」という気持ちと、「抱きしめたい、守りたい、甘えられたい」という二つの気持ちが沸き起こるッッ！！
見つめていたいっ！見守られていたいッ！！

自分が『艦載機』になって、貴方から飛び立ち、貴方の空を飛んで貴方に帰って羽を休めたいッ！
そして、そして、できるなら、自分が『港』になって、貴方を迎え入れて休ませたいっ！！
そんな気持ちを込めて、多分、そんな気持ちを込めてこんな描きました。
楽しんでいただけたら幸いです。

では、この本を手にして下さった方々のご多幸をおいのりしつつ今回はこのへんで。

「鳳翔さん！なんで騎乗位でしかさせてくれないんですかあっ！」

発行日: 2014 10 19
発行: 千本ノック座談会
印刷: サンライズパブリケーション株式会社 様

サークル連絡先
Eメールアドレス inafuyu@gmail.com
HPアドレス <http://senbonknock.blog92.fc2.com/>

著者 稲場 冬樹 INABA FUYUKI



